

## (2) 子育てネットワークづくりについて

妊娠期から子育て期にわたり、切れ目なく支援が必要な人に包括的な支援を提供していく必要がある。

そのためには母子保健、子育て支援、児童福祉、学校教育との連携が重要となる。

## ア 子育て支援連絡会

地域の子育て支援機関が連携し、横のつながりを作ることにより地域の子育て環境を整えるとともに、子育て世代の方の身近な相談窓口として相談対応スキルの向上を目指し、開催している。

令和元年度は「つなぐ～親支援を考える」をテーマに各機関で何ができるか検討を行った。最終回は、地域の小中学校の養護教諭と意見交換を行い、教育現場の状況報告と、地域の子ども達のためにどのような連携ができるかを考えた。今後も定期的に養護教諭との情報交換の場を設け、連携を図っていく予定である。

主な参加機関：児童館・子育て支援センター・保育園・こども園・幼稚園・ファミリーサポートセンター等

	実施回数	内 容	参加者延人数
全体会	1回	平成30年度事業実績と平成31年度事業計画について	23名
部会	4回	「つなぐ～どんなケースをどのようにしてどこにつないでいくか～（事例検討）」 「つなぐ～親支援を考える～」:Part1～3	82名

## イ 子育て支援研修会

月 日	内 容	参加者
11月5日	講話「再考・私の保護者支援 ～基本はやはり温かいまなざし～」 講師 中部大学現代教育学部幼児教育学科 教授 大河内 修 先生	児童館、子育て支援センター、保育園、 こども園、幼稚園、ファミリーサポートセン ター、子育てお助け隊等 45名

## ウ 母子保健、児童福祉との連携

事業名	実施回数	構成員	内 容
母子ケース検討会	12回	地区担当保健師、母子保健担当者、家庭相談員、母子コーディネーター	母子健康手帳交付時の妊婦面接と「こんにちは赤ちゃん訪問」から、支援が必要なケースの支援プランを検討
児童福祉課内ケース連絡会	5回	家庭相談員、母子・父子自立支援員、行政担当者、母子コーディネーター	切れ目ない支援につなげるため、課内で地域の課題及び相談事例の情報を共有し、子育て世代の相談体制について検討
母子コーディネーター連絡会	15回	母子コーディネーター	地域の課題を共有し、母子コーディネーターの活動について検討

## エ 学校教育との連携

学校教育課との打ち合わせ会議	随時実施
事例検討会	中学校 1校 1事例
子育て支援連絡会	1回 小中学校養護教諭による講話 「学校の現状及び子育て関係機関との連携について」